



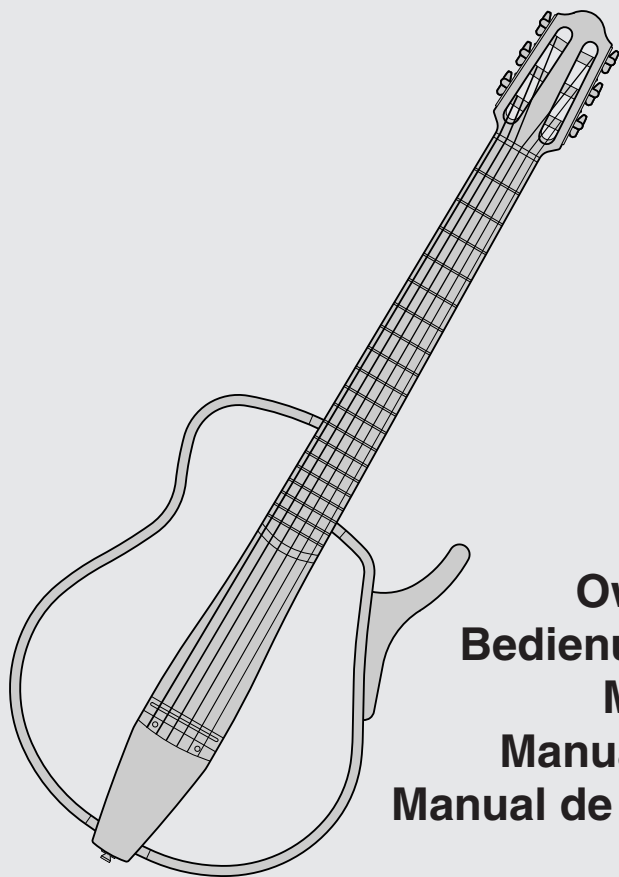
日本語

SILENT *Guitar*

English

SLG-100N/120NW

Deutsch



Français

Italiano

取扱説明書
Owner's Manual
Bedienungsanleitung
Mode d'emploi
Manuale dell'utente
Manual de instrucciones
用戶手冊

Español




中文

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しています。いずれもお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

記号表示について

-  記号：危険、警告または注意を示します。
-  記号：禁止行為を示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。
-  記号：行為を強制したり指示したりすることを示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。



警告

この表示内容を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。



この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、または故障などの原因になります。異常を感じた場合など、機器の点検修理は必ずお買い上げの楽器店または本紙17ページのヤマハサービスステーションにご依頼ください。



浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。また、本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。

感電や火災、または故障の原因になります。



使用中に音が出なくなったり異常なおいや煙が出た場合は、すぐに電源アダプターのプラグをコンセントから抜く。(電池を使用している場合は、電池を本体から抜く。)

感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または本紙17ページのヤマハサービスステーションに点検をご依頼ください。



電源アダプターは必ず交流100Vに接続する。

エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



電源アダプターは、指定のものを使用する。

(異なった電源アダプターを使用すると)故障、発火などの原因になります。



濡れた手で電源アダプターのプラグを抜き差ししない。

感電のおそれがあります。手入れをするときは、必ず電源アダプターのプラグをコンセントから抜く。



電源アダプターのプラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに乾拭きしてください。

感電やショートのおそれがあります。



音楽を楽しむエチケット

これは日本電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

楽しい音楽も時と場所によってはたいへん気になるものです。隣近所への配慮を充分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬ所で迷惑をかけてしまうことがあります。適度な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドフォンをご使用になるのもひとつの方法です。ヘッドフォンをご使用になる場合には、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

⚠️ 注意

この表示内容を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。

⊘ 電源アダプターコードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源アダプターコードに重いものをのせない。

電源アダプターコードが破損し、感電や火災の原因になります。

! 電源アダプターのプラグを抜くときは、電源アダプターコードを持たずに、必ず電源アダプターのプラグを持って引き抜く。

電源アダプターコードが破損して、感電や火災が発生するおそれがあります。

⊘ タコ足配線をしなない。

コンセント部が異常発熱して発火したりすることがあります。

⊘ 電源アダプターコードやプラグがいたんだときは使用しない。また、長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電、ショート、発火などの原因になります。

! 電池は＋／－の極性通りに正しく入れる。

正しく入れていない場合、発熱、発火、液漏れの原因になります。

⊘ 乾電池が液漏れした場合は、漏れた液に触れない。万一、液が目や口に入ったり皮膚に付いたりした場合は、すぐに水で洗い流し、医師に相談する。

失明や化学やけどなどのおそれがあります。

⊘ 電池は幼児の手の届かない所に保管する。

口に入れたりすると危険です。

⊘ 使用後の電池は火中に捨てない。

発熱、破裂、発火の原因になります。

使用済みの電池は、各自自治体で決められたルールに従って廃棄しましょう。

9Vの角形乾電池は、＋／－の端子部に絶縁テープなどを貼り付けて廃棄してください。そのまま廃棄すると、乾電池がショート、発熱、破裂、発火する危険があります。

! 長時間使用しない場合は、電池を本体から抜いておく。

電池が消耗し、電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。

! 他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行う。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にする。

感電または機器の損傷のおそれがあります。

⊘ 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなることや、逆に温度が極端に低いところ、またほこりや振動の多いところで使用しない。

本体のパネルが変形したり内部の部品が故障したりする原因になります。

⊘ テレビやラジオ、スピーカーなど他の電気製品の近くで使用しない。

電気回路の影響により、テレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。

⊘ 不安定な場所に立てない。

機器が転倒して故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。

! 本体を移動するときは、必ず電源アダプターコードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行う。

コードをいためたり、お客様が転倒したりするおそれがあります。

! この機器を電源コンセントの近くに設置する。

電源プラグに容易に手が届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

⊘ 本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しない。また、本体上にビニール製品やプラスチック製品などを置かない。

本体が変色/変質する原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。

⊘ 本体の上に乗ったり重いものをのせたりしない。また、ツマミやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。

本体が破損する原因になります。

⊘ 大きな音量で長時間ヘッドフォン(イヤホン)を使用しない。

聴覚障害の原因になります。

不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

長時間使用しないときは、必ず電源を切りましょう。

このたびはヤマハサイレントギターをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。サイレントギターの機能を十分に活用するために、この取扱説明書をよくお読みになってからご使用ください。なお、ご一読いただいた後も、不明な点が生じた場合に備えて、保証書と共に大切に保管していただきますようお願い申し上げます。

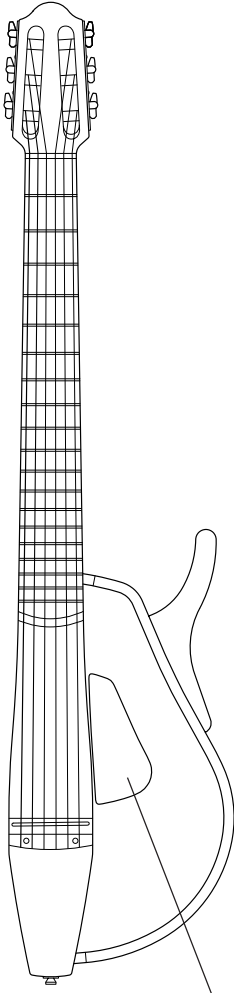
目次

安全上のご注意	2
本体/付属品	5
本体各部の名称	6
フレームの取り付け	8
■ ストラップピンについて	8
チューニング(調弦)	9
電源の準備	10
■ 家庭用コンセントから電源を取るときは	10
■ 乾電池を使うときは	10
使用方法(コントロール部)	11
■ LINE OUT使用時	11
■ ステレオインナーフォン使用時	11
外部機器との接続	12
■ 入力端子 (AUX IN端子)	13
■ 出力端子 (LINE OUT端子/ヘッドフォン端子)	13
弦の交換	14
付属ソフトケースへの収納	15
本体仕様	16
保証書とアフターサービス	17

本体/付属品

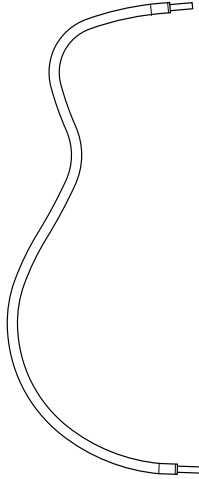
パッケージを開いたら、本体および付属品を確認してください。

● 本体

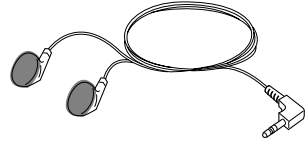


* SLG-120NWのみ

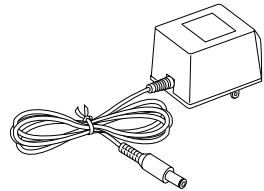
● 左フレーム



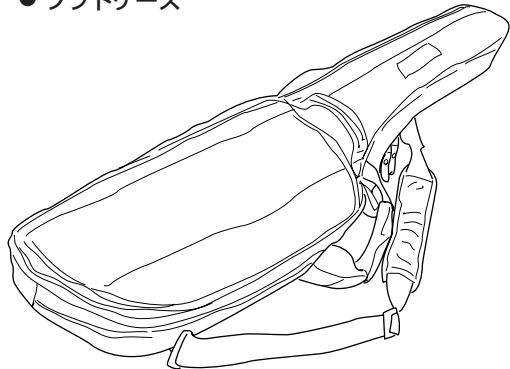
● ステレオインナーフォン



● 電源アダプター：PA-D09



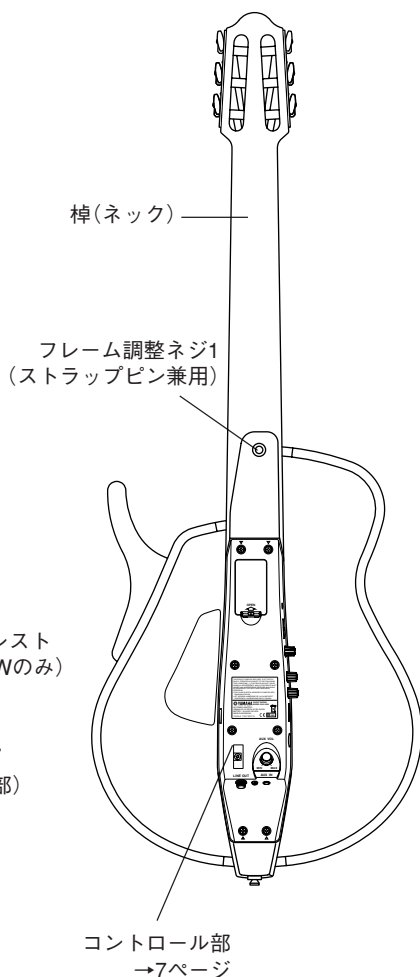
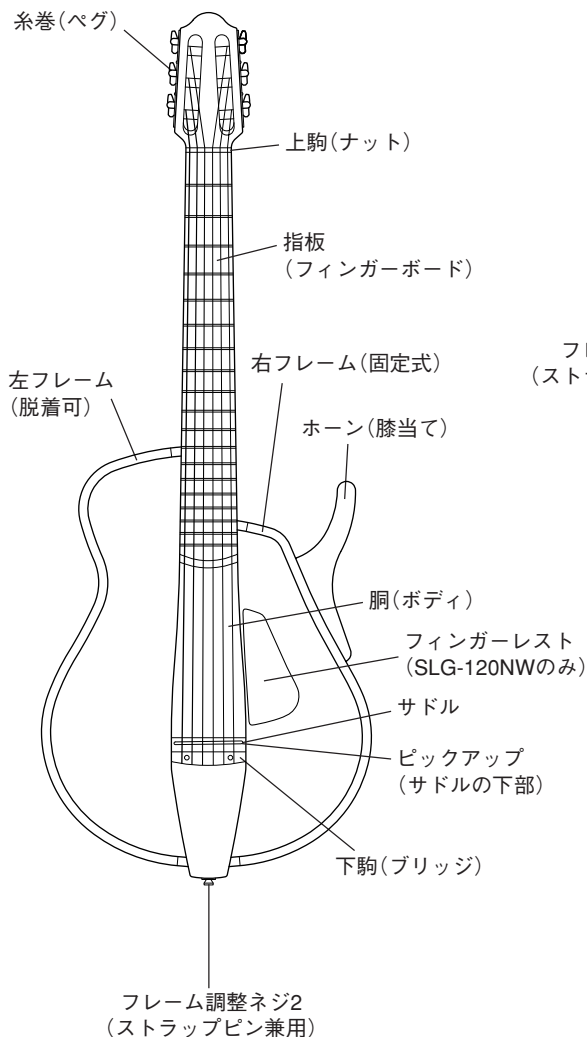
● ソフトケース



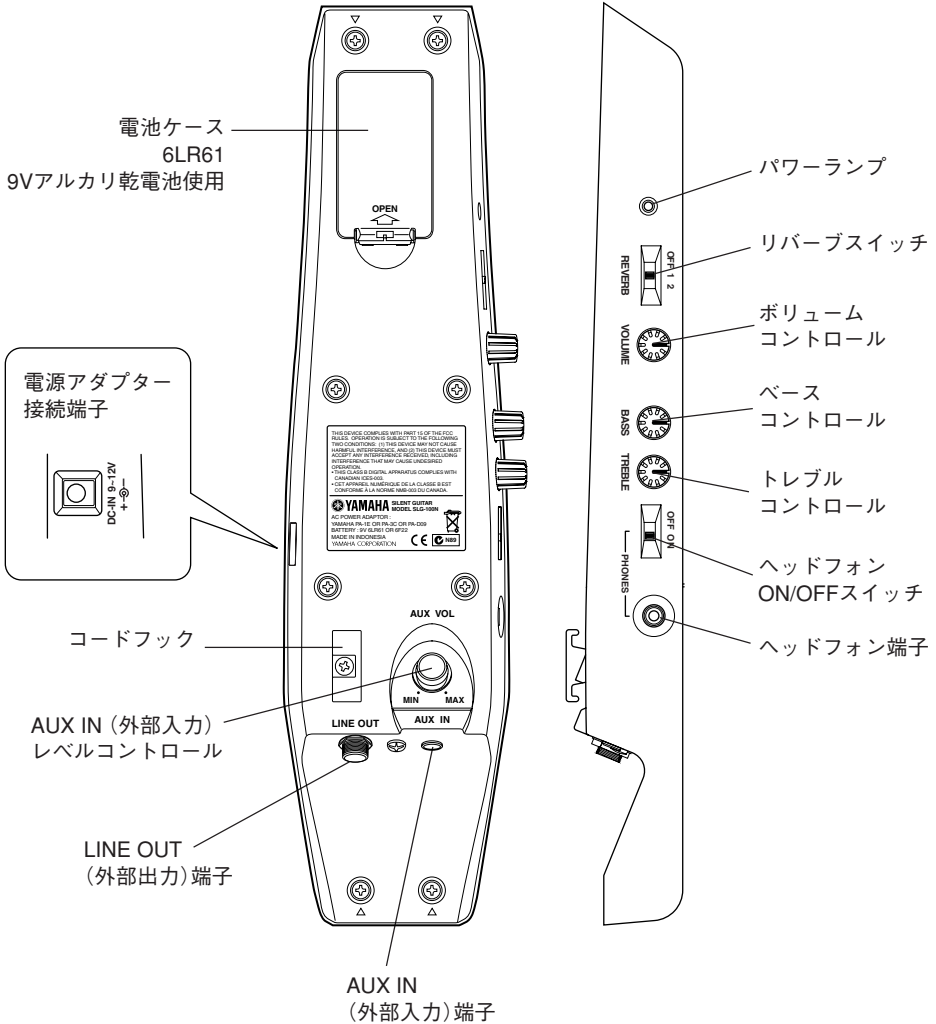
本体各部の名称

●フロント部

●リア部



●コントロール部



フレームの取り付け

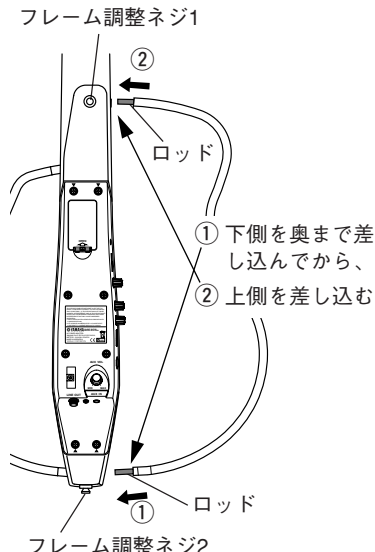
出荷時、左フレームはサイレントギター本体から外してあります。
以下の手順で左フレームを本体に正しくセットしてからお使いください。

1. 12フレットの裏付近にある「フレーム調整ネジ1」と、サイレントギター本体最下部にある「フレーム調整ネジ2」とを十分にゆるめておきます。

2. 左フレーム下側のロッドをギター本体のブラケット穴に差し込んだ状態で、上側のロッドをブラケット穴の奥まで差し込みます。

- フレームの上下を間違えずに取り付けてください。
- フレーム着脱時に、フレームのロッドに無理な力をかけないように注意してください。ロッド部分を損傷する場合があります。

3. 左フレームの2つのロッドが確実に奥まで差し込まれていることを確認したら、それぞれの調整ネジを時計方向に回して、ギター本体に固定します。



- 可動部を動かす際、指や手などをはさまないように、十分に注意してください。
- フレームを外した状態では、調整ネジを締め付けしないでください。部品を損傷し、フレームの取り外しに支障をきたす場合があります。

これで、フレームの取り付けは完了です。

取り外す場合は、上記と逆の手順で、上側のロッドをギター本体から抜いてから下側のロッドを抜いてください。

- フレーム調整ネジ1, 2はフレーム取付後、確実に締めてください。ゆるんだ状態でお使いになると、演奏時にガタついたり、雑音が発生したりする原因となります。
- 楽器の移動の際は、ネックおよびギター本体ボディを持ってください。左フレームまたは右フレームのみを持って楽器を持ち上げると、フレームおよびフレーム固定部部品損傷の原因となります。

■ ストラップピンについて

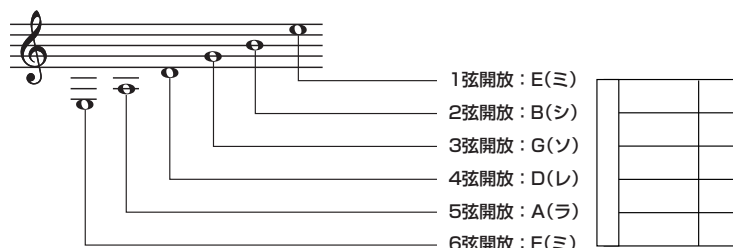
フレーム調整ネジは、市販のストラップを引っ掛けるピンとして使用できます。

- 演奏中に楽器が落下しないよう、ストラップはストラップピンに確実に引っ掛けてください。

チューニング(調弦)

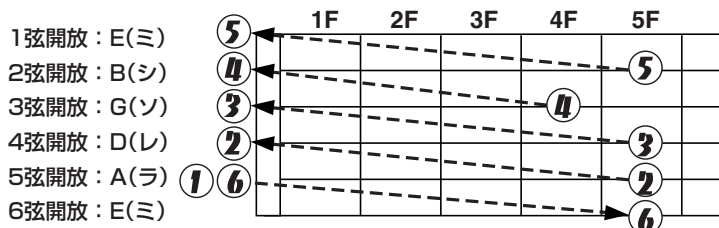
チューニングメーター、ピッチパイプ、音叉、ピアノなどを使って、各弦の開放音を以下の音程にチューニングします。

- 音程が高い場合は、一度弦をゆるめて音程を少し下げた後で上げながらチューニングをします。



音叉などの基準音(A3 : 440Hz)を用いて、次の手順でチューニングをします。

1. 音叉などの基準音ラ(A3 : 440Hz)を鳴らし、それと5弦の開放音が同じになるように、5弦をチューニングします。
2. 5弦の5フレットを押さえたときの音(レ)と4弦の開放音が同じになるように、4弦をチューニングします。
3. 4弦の5フレットを押さえたときの音(ソ)と3弦の開放音が同じになるように、3弦をチューニングします。
4. 3弦の4フレットを押さえたときの音(シ)と2弦の開放音が同じになるように、2弦をチューニングします。
5. 2弦の5フレットを押さえたときの音(ミ)と1弦の開放音が同じになるように、1弦をチューニングします。
6. 6弦の5フレットを押さえたときの音(ラ)と5弦の開放音が同じになるように、6弦をチューニングします。



電源の準備

サイレントギターは、電源として乾電池と電源アダプターの両方を使うことができますが、リバース機能を動作させた状態では大きな電流を消費しますので、通常は電源アダプターでの使用をお勧めいたします。

電源の準備をする前に、本体左側のPHONES ON/OFFスイッチをOFFにしてください。

家庭用コンセントから電源を取るときは

1. 電源アダプターのDCプラグを、サイレントギターのDC IN端子に、確実に差し込みます。
2. 電源アダプターのACプラグを家庭用(AC100V)コンセントに差し込みます。

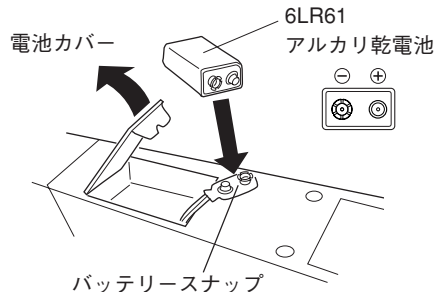
- 乾電池が入っている状態で電源アダプターを接続すると、電源は自動的にアダプター側から供給されるようになります。乾電池の液漏れ防止の為、電源アダプターでご使用になる場合は、乾電池を本体から抜いておくことをお勧めします。
- 電源アダプターは、必ず指定のもの(指定電源アダプター：PA-D09, PA-1E, PA-3C)をご使用ください。他の電源アダプターの使用は、故障・発火などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証いたしかねる場合がございますので、充分にご注意ください。

乾電池を使うときは

1. 市販のアルカリ乾電池6LR61を1個、お買い求めください。

- マンガン乾電池をご使用になった場合、乾電池によっては極端に電池寿命が短くなることがあります。

2. サイレントギター裏面にある電池カバーの、“OPEN”と書いてあるツメをヘッド側に押し、電池カバーを取り外します。
3. 乾電池(6LR61)をバッテリースナップに取り付け、電池ケースに入れます。イラストを参考に、向きと極性(+/-)を間違えないように入れてください。
4. 電池カバーを閉めます。



電池が消耗すると、リバース効果がかからず、ランプが点灯しなくなる他、ノイズも発生しますので、以下のことに注意して新しいアルカリ乾電池と交換してください。

- 乾電池は+/-の極性表示どおりに正しく入れてください。正しく入れていない場合、発火するおそれがあります。
- 長期間使用しない場合は、乾電池を本体から抜いておいてください。乾電池が消耗し、液漏れにより本体を損傷するおそれがあります。

使用方法(コントロール部)

LINE OUT使用時 (ギターアンプやパワードスピーカーなどを使用する場合)

1. LINE OUT端子と、ギターアンプやパワードスピーカーなどの入力端子とを、標準フォーンプラグのケーブルで接続します。
このとき、LINE OUT端子にプラグを差し込むと、サイレントギターの電源が入り、パワーランプが点灯します。

- 接続は、ギターアンプ・パワードスピーカーなどの出力ボリュームを絞るか電源をOFFにした状態で行ってください。
- 乾電池が消耗しますので、使用後は必ずプラグを抜いておいてください。

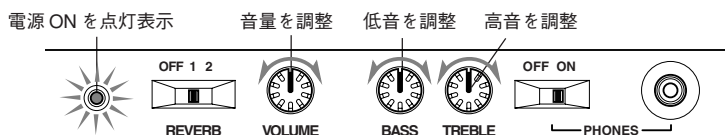
2. 演奏してVOLUMEノブを回し、適度な音量になるように調整します。

- 強く弾いた際に音が歪む場合は、VOLUMEノブを少し左に戻してください。

3. BASS, TREBLEコントロールノブを回すと、音質を調整することができます。
BASSノブを右に回すと低音が強調され、左に回すと低音が抑えられます。
TREBLEノブを右に回すと高音が強調され、左に回すと高音が抑えられます。

4. リバーブ機能を使うと、演奏音に残響が加わり、臨場感を得ることができます。
REVERBスイッチを“1”にすると室内で演奏しているようなリバーブが、“2”にするとホールで演奏しているようなリバーブが得られます。

- REVERBスイッチ“OFF”の場合、“1”や“2”の場合に比べて消費電力が少なくなります。
- REVERBスイッチを切り替える際、ノイズが発生することがあります。



ステレオインナーフォン使用時 (または外部機器にステレオ出力する場合)

付属のステレオインナーフォンや市販のヘッドフォンを使用する場合、またはステレオの外部出力を得たい場合は、ヘッドフォン端子(PHONES)と外部機器を接続します。

1. 本体右側のヘッドフォンON/OFFスイッチをONにすると、サイレントギターの電源が入り、パワーランプが点灯します。
2. ヘッドフォン端子にインナーフォンのプラグを差し込みます。外部機器に接続する場合は、ステレオプラグケーブルでヘッドフォン端子と外部機器を接続します。
3. 以下の手順は、上記LINE OUT端子使用時の2~4と同様です。

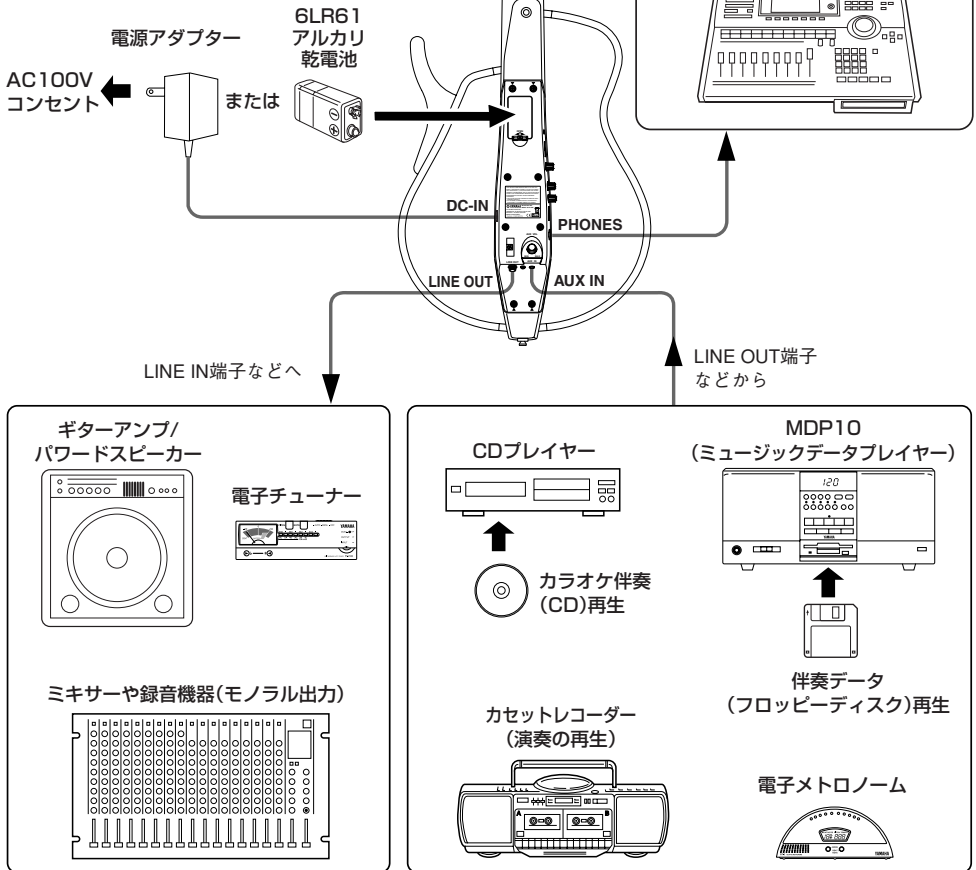
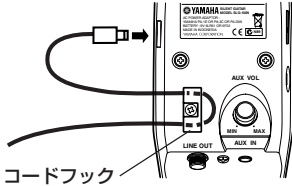
- 大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。
- ヘッドフォンを耳に当てた状態では、プラグの抜き差しをしないでください。

外部機器との接続

サイレントギター

● コードフック使用例

電源アダプターのコードをコードフックに引っかけます。(コードの抜け防止)



外部機器と接続する際は、接続端子の形状を確認し、必ず端子の規格に合ったプラグのケーブルを用い、確実に接続してください。

■ 入力端子 (AUX IN端子)

- AUX IN端子は、外部機器からのステレオ音声信号を入力する端子です。
市販のオーディオケーブルで、CDプレーヤーやテープレコーダーなどのオーディオ機器の出力端子と接続すれば、外部機器の演奏をバックに練習することができます。
また、楽器練習に便利な多彩な機能を装備した、ヤマハミュージックデータプレイヤーMDP10を接続することもできます。
- AUX IN端子から入力される音声信号のボリュームは、AUX INレベルコントロールノブで調整します。

■ 出力端子 (LINE OUT端子/ヘッドフォン端子)

- LINE OUT端子と、外部のギターアンプ、パワードスピーカー、ミキシングコンソールなどの入力端子を、市販のステレオ(またはモノラル)標準フォーンプラグケーブルで接続することで、サイレントギターの演奏音を外部機器で鳴らしたり、録音することができます。
電子チューナーのINPUT端子と接続すれば、電子楽器のように出力信号を使ってチューニングすることができます。
- 付属のステレオインナーフォンを使用する場合は、ヘッドフォン端子(PHONES)にインナーフォンのプラグを差し込み、ヘッドフォンON/OFFスイッチをONにします。
- LINE OUT端子はモノラル仕様、ヘッドフォン端子はステレオ仕様になっています。

- サイレントギターを外部機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った状態で接続してください。また、外部機器の音量を最小にしてから接続してください。大音量で聴覚障害を起こしたり、機器を損傷するおそれがあります。
- コードを踏まないように注意してください。コードの断線や、接続の外れによる機器の損傷、耳への衝撃などのおそれがあります。
- サイレントギターの出力端子から送る音声信号を、直接、または外部機器を経由してサイレントギターの入力端子に、絶対に戻さないでください。発振を起こし、内部機器の損傷の原因になります。

弦の交換

弦は古くなると、音質が劣化し、調弦しても音程が合わなくなります。

弦が古くなったと感じたら、早めに新しい弦に交換しましょう。

弦は、弦長650mm(25-9/16インチ)に適合する、市販のクラシックギター用弦をお買い求めください。

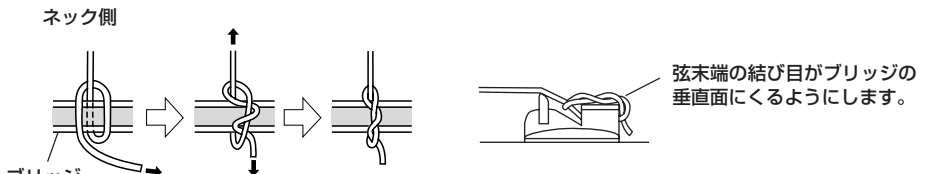


弦を交換するときや調整するときには、顔に楽器を近づけないようにしてください。不意に弦が切れて目を傷つける場合があります。

また弦交換の際に、弦を切る場合は、十分にペグ(糸巻)をゆるめてから行なってください。急激に弦のテンションが失われると、ネックにダメージを与えるだけでなく、弦の跳ね返りにより、思わぬケガの原因ともなります。

1. ブリッジの弦穴に弦を通し、弦を下図のように結びます。

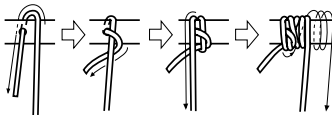
結んだら、弦を両側に強く引き、弦をブリッジにしっかりと固定します。



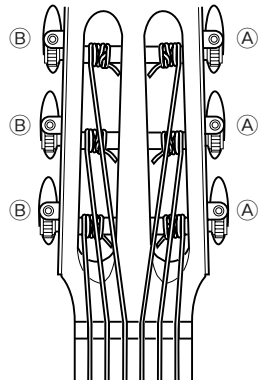
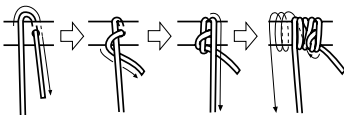
* 弦がすべりやすい場合(1, 2, 3弦)は、もう1回結んでください。

2. 次にペグに弦を巻きます。

- 1/2/3弦の巻き方 ① ヘッド正面から見て左側に1回巻いてから、右側に向かって弦を巻いていきます。



- 4/5/6弦の巻き方 ② ヘッド正面から見て右側に1回巻いてから、左側に向かって弦を巻いていきます。

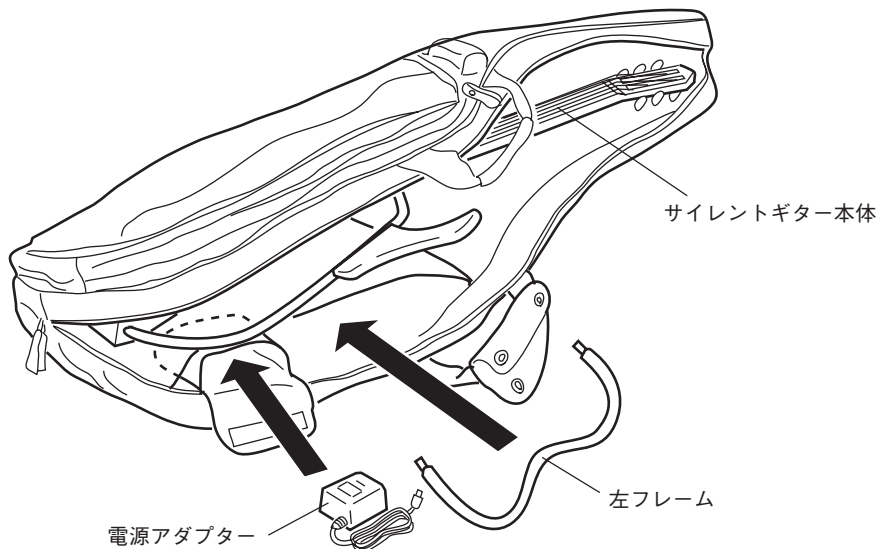


3. 6本共弦を巻き終えたら、『チューニング(調弦)』(9ページ)の手順に従って、正しくチューニングしてください。

付属ソフトケースへの収納

別売のサイレントギター用ソフトケースに収納する場合は、サイレントギターから左フレームを外し、下図のようにして分けて入れてください。

- 左フレームはケース内のポケット(大)に入れます。
- 電源アダプターはケース内のポケットに入れ、フタのマジックテープをしっかりと止めます。
- ソフトケースに入れた状態で横に置く場合は、指板面を上側にしてください。



ソフトケースは、各用品の損傷を保障するものではありません。

ソフトケースは、あくまで携帯しての移動用、および楽器をホコリなどから守るための収納ケースです。指板面を下にして置いたり、物を乗せる、ぶつけるなど、衝撃を与えることは避けてください。

本体仕様

棹	マホガニー
胴	メイプル
指板	ローズウッド(SLG-120NW : エボニー)
下駒	ローズウッド
フレーム	メイプル(SLG-120NW : ローズウッド /メイプル)
弦	クラシックギター用ナイロン弦
センサー	B-BAND
電気	<ul style="list-style-type: none">● AUX IN端子● AUX INレベルコントロール● LINE OUT端子(モノラル)● ヘッドフォン出力端子(ステレオ)● ボリューム● ベースコントロール● トレブルコントロール● リバーススイッチ(OFF/1/2)● ヘッドフォンスイッチ(ON/OFF)● LINE OUT端子兼POWERスイッチ(ジャック差込時ON)
電源	電源アダプター/6LR61乾電池×1本 兼用 *指定電源アダプター : PA-D09, PA-1E, PA-3C
電池寿命	通常連続使用時 アルカリ乾電池 : 24時間 マンガン乾電池 : 13.5時間 リバース使用時 アルカリ乾電池 : 7.5時間 マンガン乾電池 : 2時間~30分(メーカーにより異なります)
弦長	650mm
寸法	965(L)×365(W)×80(H)mm (左フレーム取付、ボディエンド部調整ネジ最短状態)
重量	1.8kg

※ 製品の規格および仕様は、改良の際、予告なく変更する場合があります。

